



楽しくて力がつく学校

石部小学校 校報 第8号

平成21(2009)年1月16日

児童数：390名

電話：77-2030

Fax：77-6733

## 1月は「正す月」



目標は言い切ると実現する

「ありがとう」の言葉が幸せを呼ぶ

校長 谷口 茂雄

標題は、新学期に子どもたちに話した三つの内容です。次のような話をしました。

### <一つ目>

一月のことを正月といいます。正月と言う呼び名は、一月だけです。何でだろう？

正月は「正す月」と読みます。「姿勢を正す」ってどうすることかな？「襟を正す」って知ってるかな？

正月。姿勢を正して、様々なことにチャレンジしましょう。

### <二つ目>

教室で、今年目標や三学期のめあてを考えるとします。

そのときには、「算数ができるようになりたい」と、願いの形で言うのではなく、「算数ができるようになります」と言い切りましょう。



人前で目標を言い切ってしまうと、嘘をつかないように、本当にそうなるように努力します。その結果、目標が実現します。

言葉は、口に出してみんなの前で言い切ったとき、力を持つのです。

### <三つ目>

お正月だから、校長先生からお年玉をあげます。幸せになる言葉のお年玉です。

それは「ありがとう」という言葉です。

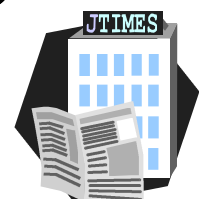
「ありがとう」と言われて、いやな気持ちになる人はいませんね。そればかりでなく、「ありがとう」と言われると、「そんならもっとやってあげよう」と思うようになります。だから、「ありがとう」と言った人が幸せになるのです。



## 読売新聞さんも「学校応援団」にご協力いただきます

この号から、京都新聞だけでなく読売新聞にも、新聞折り込みをしていただけることになりました。読売新聞販売店 佐々木久雄 さんのご厚意です。

石部小学校の応援団として、学校情報が多くの地域の方々にお知らせできることを有り難く思っています。よろしくお願ひします。



実は、表ページの話の後にやりたいことがあったのです。それは、「聞く力のテスト」です。子どもたちには事前に知らせず、抜き打ちテストです。

教室に帰ってから、担任が「今日の校長先生の話を書きなさい」とだけ言って、7分間で書いてもらいます。



①いくつかの話？ ②一つ目は、二つ目は、三つ目は、という話の内容 ③結局どういうことを言いたかった？ ④話を聞いて思ったことを書くのですが、そんなつもりで聞いていないから大変です。(低学年は、聞き取り用紙に書く練習をしました。)

①・②は「正確に聞く力」、③・④は「主体的に聞く力」を測定します。大学の先生が行った調査によると、日本の子どもたちには

「正確に聞く力」は育っていることが分かっています。

しかしながら、これからの時代に必要となる聞く力は、「③」や「④」のように、話を聞いて自分の考えを持つ力です。これは、訓練しないと出来ません。

その「④」に、

- ◆ 校長先生の言ったとおりにしたい。感謝の気持ちを伝えたい。(6年男)
- ◆ 新年には色々な意味があるので、自分を変える年にしよう。(5年女)

などを書いてくれる子もいて、「鍛えれば伸びる石部の子ども」を実感しながら、集計をしています。機会を見て、結果を報告します。お楽しみに。

## <また> 学校応援団情報

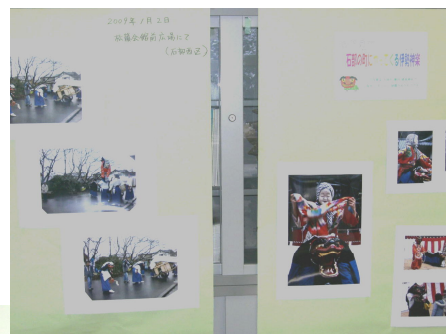
### 写真展開催中

(~2月中)

宝来坂在住の篠原武久さん撮影による、「滋賀県の子供を主体にしたお祭り」「お正月に石部の町にやってくる伊勢神楽」展が開催中です。

石部西区で行われました獅子舞も「2009.1.2 松籟会館広場にて」のタイトルで、掲示しています。

午後1時~1時半の昼休みには、子どもたちもやってきて、一緒にふれあっていただくことも出来ます。どうぞ、お気軽にお越しください。



### 学校応援団総会

3月6日(金)  
19時30分~21時  
於:石部文化ホール ロビー



今からご予約をお願いします。

撮影者の篠原さんも来室され、子どもたちと一緒にゲーム。